

別添資料:各社の役割の概要

◆**遠隔監視システム「Dispatcher」の提供、添乗員操作アプリの提供（SBドライブ株式会社）**

車内での転倒事故などを防止することを目的に、自動運転車両運行プラットフォーム「Dispatcher(ディスパッチャー)」とこの車両を連携させ、乗客の着座前発進や走行中の車内移動などをAI(人工知能)で検知して遠隔監視者や乗客に注意喚起を行う「Dispatcher」の機能を利用し、バスの遠隔監視を行います。また、遠隔監視者が「Dispatcher」で添乗員による発車指示を確認してから車両を発車させることができるようにするため、発車指示を出すための添乗員向けのスマートフォンアプリを用意して「Dispatcher」と連携させています。

※Dispatcher は、SBドライブ株式会社の商標です。

◆**自動運転技術の提供、空港制限区域内の自動走行に関する技術検証（先進モビリティ株式会社）**

ANA 所有のBYD 社製の大型電気バス「K9RA」に対して自動運転システムを搭載、またSBドライブの遠隔監視システム「Dispatcher」との連携を実現しています。

大型電気バスに搭載した自動運転システムの検証に加え、空港制限区域内という特色のある環境での自動運転バス実用化に向け、磁気マーカーやSLAMといった様々な走行要素技術の検証を進めます。

【主な搭載機器】

自動操舵装置、EBS(Electronic Brake System)
GNSS 受信機、ジャイロセンサ、各種障害物センサ
走行制御コンピュータ、認識処理コンピュータ

◆**ベース車両の提供、メンテナンス支援（ビーワイディージャパン株式会社）**

自動運転システムの制御などに必要な電気供給が容易であり、かつ CO2 削減に貢献できる大型の電気車両の中で、既に日本国内での走行実績があり、世界的にも最大の電気バスメーカーであるBYD 社製の車両を採用し、ANA のラッピングをしています。2020 年の試験運用時においても同じ車両を使用する予定です。

ベース車両名	BYD 社製大型電気バス K9RA
車両寸法 (mm)	全長 12,000 x 全幅 2,500 x 全高 3,400
乗車定員 (人)	57 (座席数 26、運転席を含む)

※上記は 2020 年 1 月 22 日現在の情報です。

以 上